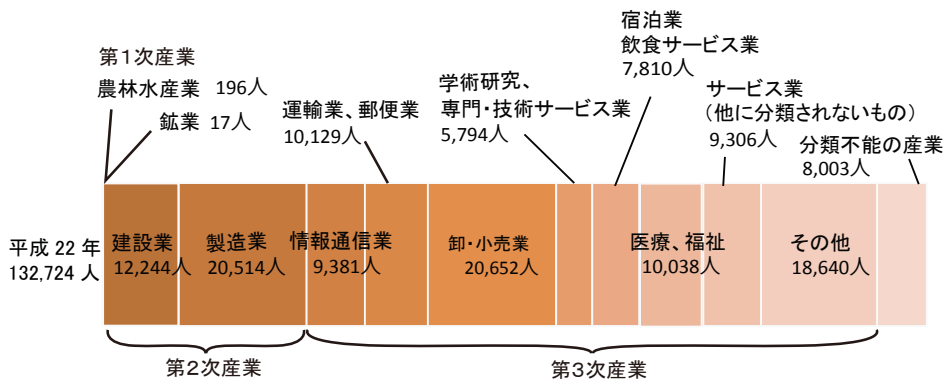


4 就業状況・労働力人口

● 就業状況

鶴見区就業者は、第3次産業、第2次産業、第1次産業の順に多く、産業大分類別にみると、卸売業・小売業の就業者数が20,652人と最も多くなっています。



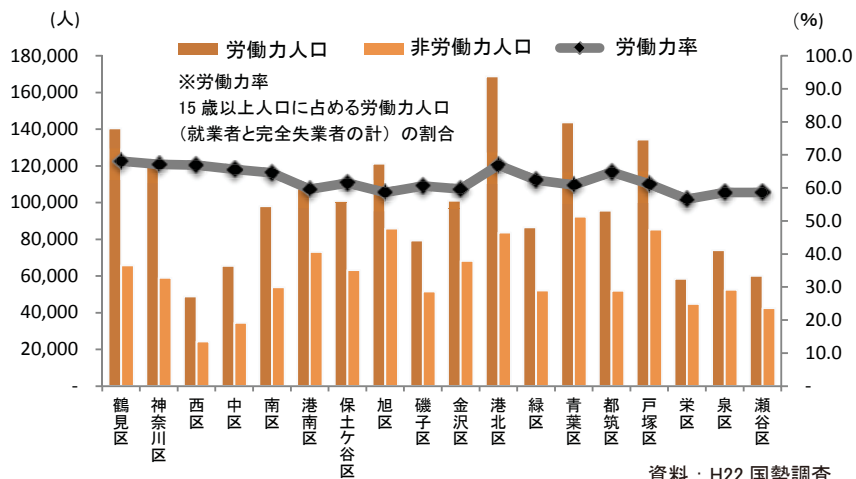
● 労働力人口・労働力率

鶴見区の労働力人口は、140,424人で、行政区別にみると、港北区、青葉区に次いで、3番目の多さです。

一方、鶴見区の労働力率は68.1%で、18区中1位となっています。



鶴見区の労働力率は18区の中で一番高いんだね！



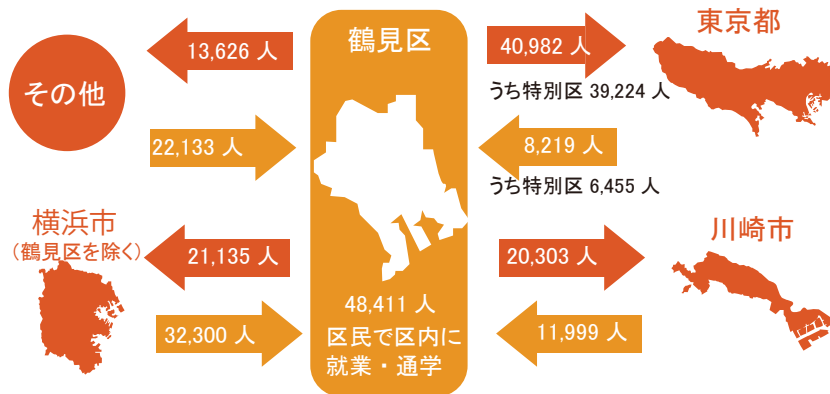
資料：H22 国勢調査

5 流出人口・流入人口・昼夜間人口

● 流出人口・流入人口

鶴見区に常住（居住）する15歳以上の就業者及び通学者数は144,457人で、そのうち、区内で就業・通学する者は48,411人、自市内他区へ就業・通学する者は21,135人となっています。

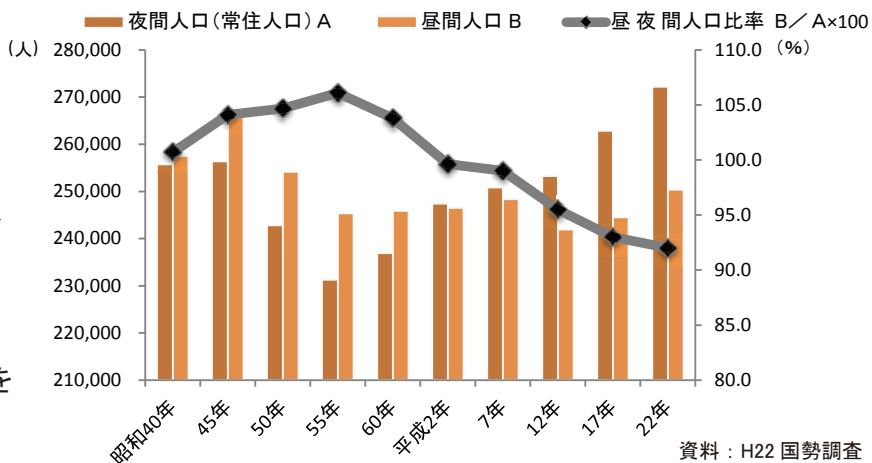
また、横浜市以外では、鶴見区からは東京都への流出が40,982人と最も多くなっています。



● 昼夜間人口

平成22年の鶴見区の昼間人口は250,323人、夜間人口は272,178人であり、平成2年以降、夜間人口が昼間人口を上回っています。

また、昼夜間人口比率は92.0%で昭和55年の106.1%をピークに減少を続けています。



資料：H22 国勢調査